

この特報は、4/17 発行の「もも・ネクタリン特報No.③」の薬剤散布（散布目安は、4/30～5/5 頃）が終わってから行なう防除を掲載しています。特報No.③の内容を再度、ご確認ください。

【生育状況】 白鳳（平岡調査地点）

開花は 4/20 で、昨年よりも 8 日程度遅れている状況です。（ほぼ平年並）
品種間差や地域差がありますので、園内の生育状況をよく確認し、適期防除と管理作業を進めましょう。

年 度	平 年	H 2 8	H 2 9	H 3 0	本 年
満 開	4／25	4／17	4／24	4／17	4／24頃
落 花	5／3	4／24	5／3	4／25	5／2？

- 第 4 回 定期散布（ももとネクタリンを混植している場合は、裏面のネクタリン防除を実施下さい。）
＊薬液が枝にしっかりかかるよう、丁寧に散布する。 ＊収穫中の作物等へ飛散しないよう、十分注意する

も も

アグレプト水和剤等は「ぶどう」に種なし果を生じるため、飛散しないよう散布する

散布時期

落花 1 0 日後（第 3 回定期散布から 1 0 日後）
・ 散布日の目安： 5 月 1 0 日～1 5 日

散布薬剤

水 1 0 0 ℓ 当り
(

展着剤（ハイテンパワー） 1 0 mℓ
アプロードフロアブル 1 0 0 mℓ（収穫 1 4 日前まで、3 回以内）
ストロビードライフフロアブル 5 0 g（収穫前日まで、3 回以内）
劇モスピラン顆粒水溶剤 2 5 g（収穫前日まで、3 回以内）
アグレプト水和剤 1 0 0 g（収穫 6 0 日前まで、2 回以内）

)

散布量

1 0 アール当り 4 0 0 ℓ

混用順

水 ⇒ 展着剤 ⇒ アプロード ⇒ ストロビー ⇒ モスピラン ⇒ アグレプト

対象病害虫

せん孔細菌病、黒星病、灰星病、うどんこ病、
アブラムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類、カイガラムシ類、カメムシ類

散布日

5 月

日

散布量

ℓ

【注意事項】

- ① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。ご購入の際は「印鑑」をご持参下さい。
- ② せん孔細菌病 発生園は、展着剤にアビオン E の 1, 000 倍を使用する。（KK ステッカーの 3, 000 倍でも良い）
- ③ 極早生種（たまき・赤宝等）は、アグレプト水和剤等の収穫前規制『収穫 6 0 日前まで』に注意する。
⇒ 対 策・・・アグレプト水和剤等に代えてマイコシールドの 1, 500 倍（28 日前、5 回）を使用する。
- ④ アグレプト水和剤に代えて、ストマイ液剤 20 の 1, 000 倍またはアグリマイシン 100 の 1, 500 倍を使用しても良い。
- ⑤ アグレプト水和剤（液剤）、ストマイ液剤 20、アグリマイシン 100 等の使用回数は、合計で 2 回までとする。

次ページに、ネクタリンの防除、管理作業について掲載しております。

ネクタリン

散布時期 落花 10 日後（第 3 回定期散布から 10 日後）
・ 散布日の目安：5 月 10 日～15 日

散布日 5 月 日
散布量 リットル

散布薬剤 水 100 ㍓当り

展着剤（ハイテンパワー） 10 ml
トレノックスフロアブル 200 ml（収穫 30 日前まで、5 回以内）
アプロードフロアブル 100 ml（収穫 7 日前まで、2 回以内）
劇モスピラン顆粒水溶剤 25 g（収穫 3 日前まで、3 回以内）
マイコシールド 66 g（収穫 28 日前まで、5 回以内）

散布量 10 アール当り 400 ㍓

混用順 水 ⇒ 展着剤 ⇒ トレノックス ⇒ アプロード ⇒ モスピラン ⇒ マイコシールド

対象病害虫 せん孔細菌病、黒星病、灰星病、モモハモグリガ、ハマキムシ類、カイガラムシ類、カメムシ類

【注意事項】

- ① モスピラン顆粒水溶剤は「劇物」です。ご購入の際は「印鑑」をご持参下さい。
- ② せん孔細菌病 発生園は、展着剤をハイテンパワーに代えてアビオン E の 1,000 倍を使用する。
- ③ もも混植園で、うどんこ病 発生園は、トレノックスフロアブルに代えてストロビードライフロアブルの 2,000 倍（前日、3 回）を加用する。
- ④ アグレプト水和剤（液剤）、アグリマイシン 100、ストマイ液剤 20 等は、ネクタリンに登録がないため使用できません。

●摘花

摘蕾が間に合わなかった場合は、摘花を実施し着果制限する。（特に、結実の良好な品種。要領は摘蕾と同様）

●せん孔細菌病 春型枝病斑の除去

昨年、せん孔細菌病が発生した園地は、開花期から 5 月末まで枝病斑の除去を必ず実施する。

＊詳細は、りんご・もも部会特報 No.4（4/17 発行）をご覧ください。

●予備摘果

- ① 時期：満開から 30 日後までに実施する。
- ② 方法：結果枝中央部の側方か下方の葉がある部分の果実を残す。短果枝は先端部を残す。
上向きの果実は摘む。また、骨格枝上や結果枝基部の果実は摘む。
- ③ 注意：結実の良い品種から実施する。
川中島白桃など花粉のない品種で結実不足が心配される場合は、結実が判明してから実施する。

結果枝	残す果実数
長果枝（30 cm 以上）	2～3 個
中果枝（10 cm～30 cm）	1～2 個
短果枝（10 cm 未満）	0～1 個

（果樹指導指針より）

もも 結果枝別着果量の目安

次回特報 発行予定日：5/17

【もも・ネクタリン特報 No.⑤】

内容：第 5 回 薬剤散布 他

散布日：5/20～25 頃

もも：フルーツセイバー、ハチハチ F、マイコシールド

ネク：トレノックス F、ハチハチ F、マイコシールド